

研究タイトル：

室町時代後期の武家住宅・城館の復元



氏名：	熊谷 透 / KUMAGAI Toru	E-mail：	kumagai.toru@toyota.kosen-ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(工学)
所属学会・協会：	日本建築学会		
キーワード：	日本建築史		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘された建物遺構および遺物(建築部材・道具)の復元検討 ・現存する歴史的建造物の調査 ・上記に関する講演や原稿執筆 		

研究内容： 室町時代後期の武家住宅・城館の復元

建築学の歴史・意匠分野の研究を行っています。専門は日本建築史で、日本の住宅建築のなかでも、地方の大名邸や京都の将軍邸などの現存していない室町時代後期の武家住宅・城館を対象として、考古学発掘資料や文献資料にもとづく復元考察を行っています。また、愛知、岐阜、静岡など中部地方の日常風景に現存している町家や農家などの住宅建築についての調査も行います。

■ 建築の復元考証の実績

1. 朝倉館原寸再現模型

概要 越前朝倉氏の当主館の一部を、発掘成果にもとづいて原寸で再現した模型。建物内や庭を見学しながら、戦国大名の暮らしぶりや当主朝倉義景の視線を体感できる。室内の障壁画や押板の飾りなど、初期書院造のインテリアも再現。

所在地 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館（福井市安波賀中島町）

竣工 2022年

規模 18.5m×25m

スケール 1/1（原寸）

復元年代 永禄11年(1567年)



2. 一乗谷城下町ジオラマ

概要 越前朝倉氏の治めた一乗谷城下の町並みを発掘成果にもとづいて1/30スケールで再現した巨大ジオラマ。8m幅の幹線道路沿いに50軒以上の町家が軒を連ねて職人と商人が集住し、さらに山側には寺院や武家屋敷も建ち並び、一乗谷で最も繁華なエリアの様子を再現。

所在地 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館（福井市安波賀中島町）

竣工 2022年

規模 8.3m×4.3m

スケール 1/30

復元年代 元亀4年(1573年)



(画像提供：株式会社丹青社)

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	